



みんなで見よう
平和と人権
[人権文化をすすめる国際連盟]

第58回 ふれ愛シネサロン

広島平和記念公園の被爆アオギリの木の下で、
たくさん子どもたちに被爆体験を語り継いだ
ひとりの女性の物語——

ヒロシマからの
愛の伝言
感涙の物語、
待望の映画化！

〔企画・製作・統括プロデューサー〕
中村 里美
〔原作・脚本・監督〕
中村 柘斗

NO MORE HIROSHIMA, NAGASAKI & FUKUSHIMA

アオギリにたくして



〔出演〕
菅井 玲
塩出純子
原日出子(特別出演)
斉藤とも子

はらまいこ
朝霧靖子
荒井尚子
池永憲彦
☆ 松井一實(広島市長)
☆ 原田康夫(元広島大学学長)

☆ 渡辺裕之(友情出演)
☆ 風見しんご

©2013株式会社ミュージズの里
©ミュージズの里「アオギリにたくして」制作委員会

上映時間 **平成28年8月6日(土)**〈2回上映・30分前開場〉

① 10:00~12:00 ② 13:30~15:30

会場 **上宮川文化センター 3階ホール**

芦屋市上宮川町10番5号 [駐車場はありません]

問合わせ 人権推進課 電話0797 (38) 2055

主催 芦屋市・芦屋市教育委員会

入場料
無料
定員当日先着
150人



アオギリにたくして

時を超えて伝えたい愛がある

結婚式まであと三日、私の人生は一変した

広島で被爆したアオギリの苗を全国各地で植樹し始めた田中節子。世界的に広がりつつあるこの活動に興味を惹かれたライターの片桐千草は、取材中に知り合った節子の妹から彼女の生前の日記を預かる。そこには原爆により足を失った女性の苦しみと克明に綴られていた…。

絶望の淵に何度も立たされながら、やがて彼女は平和の語り部として生きていく決意をする。彼女がアオギリにたくした思いとは…。

壮絶な人生を歩んだ女性の、過酷にして清澄な愛の軌跡。



平和の種を人々の心に蒔き続けた実話に基づく感涙の物語



「アオギリにたくして」は、広島平和記念公園にある被爆アオギリの木の下で、たくさんの人々に被爆体験を語り継いできた沼田鈴子さんをモデルにした映画です。

東日本大震災が起きて4ヶ月後の2011年7月12日、被災地の人々や福島原発の事を案じながら沼田鈴子さんは永眠されました。「生きて、伝えなければ…」亡くなる一ヶ月前、沼田さんがおっしゃられた言葉が今も忘れられません。原爆と原発の違いはあっても、放射能の恐ろしさは同じです。私たちは今一度、ヒロシマ・ナガサキの被爆者の声にしっかりと耳を傾け、日本と世界、そして地球の未来を考えていく時を迎えています。「世界中の誰にも二度と同じ苦しみをさせたくない」と願う被爆者の方々の願いを、日本、そして世界の人々と共に叶えていく映画となることを願っています。この映画を観てくださった方々の心に、被爆アオギリにたくされた思いを届け、平和の種が蒔かれていくことを祈っています。

No more Hiroshima! No more Nagasaki! No more Fukushima!

映画「アオギリにたくして」

企画・制作・統括プロデューサー 中村里美

【企画・製作・統括プロデューサー】中村里美 【プロデューサー・音楽監督】伊藤茂利 【原作・脚本・監督】中村柊斗 【撮影監督・編集】倉本和人 【撮影】佐久間栄一
【照明技師】淡路俊之 【録音技師】山口 勉 【8班撮影】曾根 剛 【助監督】中根 克 【美術】中根加代佑/与謝蕭風 【ヘアメイク】村松直美
【スチール】AKIRA / 竹本宗文 / 佐倉和樹 【フライヤーデザイン】AZ / 金子洋典 【衣装】東京衣装 / ビッグウッド株式会社 【題字・イラスト】吉田しん子
■ 2013年 / ヴィスタサイズステレオ ©2013 株式会社ミュージズの里

※映画「アオギリにたくして」の収益金は、世界各国での上映会・文化交流と共に、平和への思いを被爆アオギリ2世・3世の種や苗にたくして植樹するAOGIRIプロジェクト「Seeds of Peace」の活動に使われます!

©2013株式会社ミュージズの里 ©ミュージズの里「アオギリにたくして」制作委員会

被爆アオギリにたくして後世に語り継ぎたかったこととは…。
今一度、平和の尊さについて考えてみませんか。